

産 業 飛 躍 の ス ー ス 躍 ち

考 察

説得のストーリーを
したたかさが発展の差に



内田 広之さん

したが、復興庁が今後五年間の震災復興の目玉として、国際教育研究拠点(廢炉、ロボット、スマート農業、再生エネルギー)を設置しようという動きです。

どちらも世界トップ(二位ではなく!)の産業づくりを目標としています。

それだけにいわきは、国と掛け合って、何としてもこのチャンスを確実につかまなければなりません。

現在のいわきは、市民の平均所得が他の同規模の都市と比べ百万円程度低いことや、大卒者の雇用の場が圧倒的に

少ないことが課題の一つです。高卒者だけでなく、大卒者も働ける場、若者が東京など都市部で働いた後、例えばその経験をいわきで発揮できる雇用の場が必要でしょう。

「国とどう掛け合うべきか?」

では、この二つのチャンスに対して、どう国と掛け合っていけばいいでしょうか。

まずは、説得のための「ストーリー」が必要であり、この「ストーリー」には、三つの視点の「柔軟性」「創造

性」の三部構成で、これについて記します。

【被災地の意地】

有名な英国の歴史学者、トインビーは、「現代の世界には、いくつ文明がある。しかし、各文明は必ずしも古代文明が生まれた地域で生まれているわけではない。大変な経験をした地域、苦勞を経験した地域で生まれている」と述べています。

「レジリエンス」(Resilient)。「復元力」とか「しなやかさ」と訳されます。確かに、苦難を経験した地域からは、「復元力」や「しなやかさ」がつけられます。そしてそこから、パワーが生まれ、文明が生み出されるというのです。

いわきは、地震、津波、原発事故、風評被害の「四重苦

しかし、この「したたかさの差」が、その後の「発展の差」になる場合があるのも世の真実です。

■高みを目指す

東北地方は、東日本大震災と原発事故で、大変な思いをしてきました。ですから国に対して、多少盛った要求を行っても問題はないと考えます。

むしろ、冒頭で記した「レジリエンス」の力に期待を込めながら、高みを目指した一連の「ストーリー」を踏まえ、国に強く要求していくことが、いわきにとって今後の産業の飛躍に必要なことと思っ

今、いわきの産業を飛躍させる大きなチャンスが二つ訪れています。一つは、経済産業省が再生エネルギーに関する工業団地整備を福島県内に進めようとしていること。二つめは、昨年九月号の誌面でも紹介しま

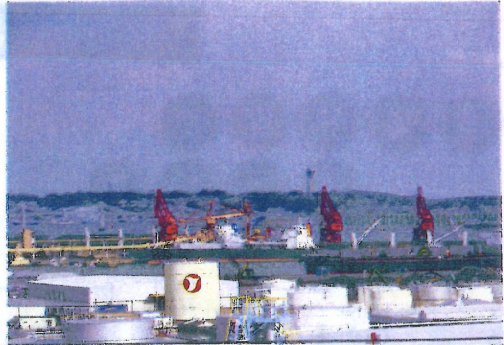
ることで予算獲得が可能になります。

【創造性】

いわきの若者、さらには都会などからのUターン希望者などを対象に、新しい起業を支援する取り組みも求められます。

最近、「スタートアップ企業支援」という呼称が広がっています。冒頭で述べた

国際教育研究拠点は、新しくかつ、世界トップの産業を生み出す研究を行う拠点。世界二位ではなく、世界トップを目指す企業です。



「東北の海の玄関」と言われる小名浜港。多くの企業が長年にわたり、いわき地域の経済、雇用を支えてきた。

既に、参画意欲を示す大学の知力なども用い、起業したい若者を徹底的に支援する仕組み。創造性を支援する視点が大きくなり、大きな力となります。

執筆者
うちだ・ひろゆき
いわき市出身。草野小・中、磐城高、東北大学工学部卒、東京大学大学院修了。1996(平成8)年4月に文科省入省。文科省の教育改革推進室長、企画官、福島大学理事・事務局長などを経て、本年1月より、東日本国際大学・地域振興戦略研究所所長。49歳
【家族、趣味】
妻と高校2年の長男との3人家族。趣味は、妻とともに、市内の自然散策。また、現在、剣道4段で、近々、5段にチャレンジ予定

就職に強い!! 個性は才能! 「コンカレ」 伸ばせ! 才能! コンカレ!
高1就活生! 平成25~6を私元年費は7年連続で100%!!
継続更新・全コンピュータシステムが最新に!!
参加特典
令和4年度
入学試験受験料
10,000円を免除
■期日 5月15日(土)
■時間 9:00~12:00
■内容 入試説明、施設見学、体験学習
NAOヒューマノイドロボット
Phantom 4 Pro+

再チャレンジ学生募集
【募集対象】
・高校を卒業、短大・大学等を卒業または中退し、令和3年3月までに進路が決まらなかった方
・コンピュータに関する技術を修得し再就職を考えている方や離職された方
【募集期間】
令和3年3月19日(金)~4月1日(金)
【募集資格】
高等学校を卒業した方
または、同等以上の学力を有する方
【応募日】
随時
【お問い合わせ】
F971-8185 福島県いわき市泉町4-13-12 info@iwaki-cc.ac.jp
いわきコンピュータ・カレッジは、厚生労働省が情報地産技術者の育成を目的として全国に設置したカレッジのひとつです。地域の産業を支える情報技術者を養成する施設として平成3年4月に開校いたしました。理事長は、いわき市長です。卒業生1,400人以上が地域で活躍しています。